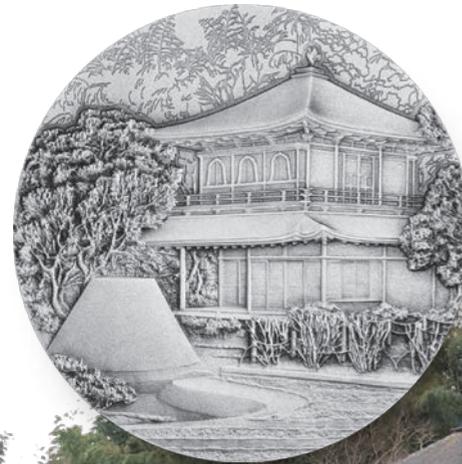


Mint Club



Japan Mint

造幣局

74号
ミントクラブ

博物館及びミントショップにおける新型コロナウイルス感染拡大防止対策

造幣局では、博物館及びミントショップにおいて新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な対策を行っています。



構内入構時には、非接触型の体温計により検温を行っています。



【博物館】

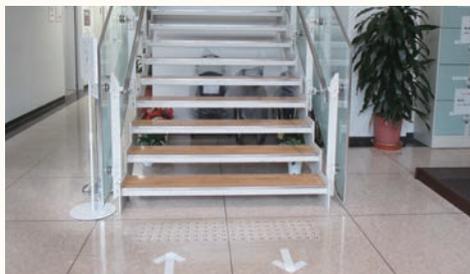
造幣博物館・造幣さいたま博物館・広島支局造幣展示室は、6月22日(月)から再開いたしました。このうち、造幣博物館で行っている対策をご紹介します。



出入口には、手指消毒剤の設置と感染防止対策へのご協力を掲示しています。



受付には、飛沫防止パネルを設置し、このパネルを介して対応いたします。



職員や来館者との接触を避けるため、博物館内を一方通行にし、一方通行表示をしています。



博物館内にあるエレベーターには、密を避けるため、床に接近防止サインとして足跡の表示をしています。



2階展示室では造幣局創業当初の歴史や事業を紹介しておりますが、換気能力が低いため現在閉鎖しています。



2階展示室の閉鎖に伴い、3階多目的ホールに主要な展示物を移動させています。環境改善のため、30分に1回程度窓を開けて換気を行います。

【ミントショップ】

ミントショップ(本局・さいたま支局・広島支局)は、6月22日(月)から営業を再開いたしました。このうち、本局のミントショップで行っている対策をご紹介します。



出入口には、感染防止対策へのご協力と大阪コロナ追跡システムへのご協力の掲示をしています。



ミントショップ内に手指消毒液を配置しております。



ミントショップでは、飛沫防止のためパーテーションを設置し、パーテーションを介して接客を行っています。



ミントショップ内には、感染拡大防止のお願い事項を書いたポスターを掲示しています。

<博物館及びミントショップへお越しの方へのご協力をお願い>

- ①マスクの着用をお願いいたします。マスクを着用されていない場合は、ご来館・ご来店をお断りさせていただくことがあります。
- ②造幣局への入構時に、検温させていただきます。なお、体調不良（37.5℃以上の発熱、咳、咽頭痛）の方につきましては、ご入場をお断りさせていただきます。
- ③受付において、「お名前・お住いの都道府県・お電話番号」の記載をお願いいたします。
- ④博物館・ミントショップに設置していますアルコール消毒液で手指の消毒をお願いいたします。
- ⑤他の来館者・お客様と距離（約2m）を取ってください。
- ⑥発熱や咳等、風邪の症状がある場合はご来館・ご来店をご遠慮ください。

※工場見学（ガイドツアー及び予約受付）は、現在休止させていただいております。再開時期については、改めて造幣局ホームページでお知らせいたします。

※ミントショップで販売中の貨幣セットにつきましては、造幣局オンラインショップでもお買い求めいただけますのでご利用ください。

<ミントショップからのお知らせ >

経済産業省の「プラスチック製買物袋の有料化制度」実施に伴い、7月1日（水）からレジ袋を有料としています。

【販売価格 1枚 3円】

レジ袋の削減にご協力をお願いします。

「桜の通り抜け」及び「花のまわりみち」 関連製品の抽選会



今年の「桜の通り抜け」・「花のまわりみち」の開催は中止となりましたが、関連製品の通信販売の申込受付を行ったところ、申込数量が販売数量を上回りましたので令和2年6月15日（月）に抽選会を開催いたしました。

なお、これまで「花のまわりみち貨幣セット」は現地のみでの販売でしたが、今年は「花のまわりみち」が中止となったことを受け通信販売を行いました。

販売製品	販売価格(消費税・送料込)	販売数量	申込件数
桜の通り抜け 2020 プルーフ貨幣セット	13,700 円	18,100 セット	25,151 件
令和2年桜の通り抜け貨幣セット	2,300 円	45,300 セット	48,687 件
令和2年花のまわりみち貨幣セット	2,300 円	15,200 セット	41,335 件
令和2年桜の通り抜け記念メダル（金）	804,000 円	400 個	895 件
令和2年桜の通り抜け記念メダル（銀）	22,000 円	2,000 個	3,137 件
令和2年桜の通り抜け記念メダル（銅）	6,200 円	2,500 個	3,114 件

国宝章牌「慈照寺」のデザイン画作成・原型(彫刻)制作の紹介

造幣局では、芸術系大学を卒業して専門的な知識・技術を持つ職員によって貨幣や金属工芸品のデザイン画作成と原型制作を行っています。今回は、本号において申込受付を行う国宝章牌「慈照寺」のデザイン画の作成から金型を彫るためのデータ作成までの流れをご紹介します。

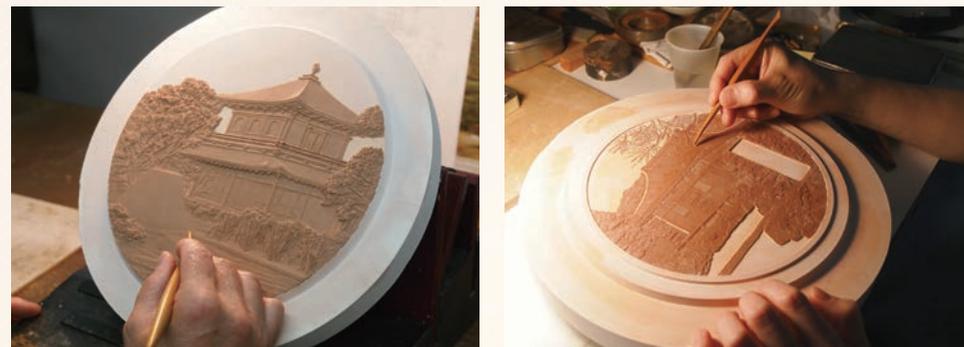
- ① 慈照寺を訪問し、デザイン画の作成に当たり参考になる写真を撮影します。
- ② 撮影された写真を基に、複数名でデザイン画の候補を作成します。



デザイン画の作成

- ③ 複数の候補の中から、デザイン画が決定されます。
- ④ 国宝章牌製造に携わる各部門の担当者が集まり、製造工程とスケジュール等を確認します。また、金型から製品への模様転写の具合を想定し、より模様が転写されやすいようにデザイン画の微調整を行います。
- ⑤ ④の打ち合わせ内容を踏まえて、彫刻担当者がデザイン画を基に金型を彫るために用いる原型の制作を行います。
彫刻担当者が原型を制作するに当たっては、デザイン画作成者と彫刻担当者の作品イメージに対する齟齬が生じないように制作途中もデザイン画作成者の確認を取りながら進めていきます。

- ⑥ 最初にデザイン画を基に、粘土原型を制作します。粘土原型を作るに当たっては、細かい部分を表現するために、木質が極めて緻密なツゲの木から製作したヘラを使って原型を整えます。この作業では、粘土を盛る高さが限られている中で、建物の立体感や奥行きを表現することが求められます。



粘土原型制作

- ⑦ 粘土原型が完成した後は、粘土原型に石膏を流し込み、凹型、凸型と型を取りながら、鉄ベラやサンドペーパーを使い細かいデザイン部分を彫刻していきます。



石膏原型制作

- ※「慈照寺」の文字は後の工程で金型に機械で直接彫り入れるため、原型の時点では入っていません。
同様に、国宝章牌の裏面にある「池の水面の模様」は、金型に直接レーザー加工を施す梨地加工技術を用いるために、原型の時点ではその部分についても入っていません。

⑧石膏原型の凹凸情報を三次元測定しデータ化します。

表面（おもてめん）に関しては、後工程の利便性を考えて石膏原型では入っていない背景部分を作成、合成し、金型用のデータを完成させます。

裏面に関しては、データに『慈照寺』の文字を合成し金型用のデータを完成させます。



石膏原型から三次元測定したデータに石膏原型にない背景及び文字を合成する作業

ここまでがデザイン画作成から金型を彫るためのデータ作成までの一連の作業です。



最後に、国宝章牌「慈照寺」のデザイン画を作成した職員のコメントをご紹介します。

国宝章牌の表面にある「観音殿」と裏面にある「東求堂」を主としたデザインにするため現地に赴き写真撮影をしました。お寺の庭ということもあり庭木が建物の前に映り込む場所が多く一枚の写真を参考にするのではなく、いくつか撮影した写真を組み合わせて主となる建物が活きるデザインにしました。

国宝章牌の表面は、観音殿をメインに慈照寺の中でも有名な円錐台形の向月台と白砂を段形に盛り上げた銀沙灘（ぎんしゃだん）を入れた構図を考えました。その中で、主となる観音殿が小さくなりすぎないように各モチーフの大きさに注意を払い、国宝章牌の形である円形の構図に当てはめた場合に目線の流れが生まれるように意識してデザインしました。

国宝章牌の裏面の東求堂は正面から見える位置に立ち入ることが出来ず、また建物が庭木に隠れてしまう角度が多く撮影できる場所が限られました。写真を撮影した中で、東求堂の大きな檜皮葺きの屋根が見え、尚且つ池が入る構図が見つかりましたので、それを基にデザインしました。

国宝章牌「慈照寺」の特殊加工技術（梨地加工）の紹介

国宝章牌「慈照寺」に使われている特殊加工技術の梨地加工についてご紹介します。

造幣局製品には、梨地加工という、表面に細かな凹凸を刻むことにより光を乱反射させ、梨の表面のような質感に上げる特殊な加工技術を施している製品があります。梨地加工を施す技術にはサンドブラスト（細かな砂を圧縮空気で吹き付けて表面を荒らす加工）など様々なものがありますが、国宝章牌では主にレーザーにより梨地に加工しています。

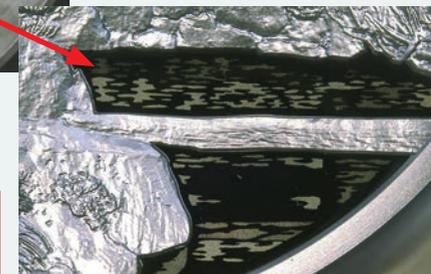
梨地部分の細かな凹凸は、その大きさや密度によって質感や濃淡が変わります。凹凸の高低差が大きく密なほど白っぽくなり、その逆に凹凸の高低差が小さく疎なほど黒っぽくなります。レーザー加工は、凹凸の高低差や粗密を細かく制御できるので、細かい濃淡の表現が可能です。

模様が彫られた金型にレーザーで梨地加工を行い、その金型で丸い銀の板をプレスすることにより、梨地がある章牌が出来上がります。

写真は国宝章牌「慈照寺（銀）」の金型で、「池の水面の模様」部分は2種類の濃淡をレーザーで梨地加工しています。



※写真は金型を撮影したもので、製品とは反転した図柄となっています。



梨地加工を施している「池の水面の模様」の拡大写真



慈照寺

国宝章牌

金章牌(表)

金章牌(裏)



銀章牌(表)

銀章牌(裏)



※写真はイメージのため、現物とは異なります。

造幣局では、貴重な国宝及びそれに付随する文化財を題材に取り上げ、国宝章牌を製造・販売しています。今回は、「古都京都の文化財」として世界文化遺産に登録されている「慈照寺(銀閣寺)」を題材にしました。章牌の表面は、観音殿、向月台(こうげつだい)と銀沙灘(ぎんしゃだん)をレリーフ(浮き彫り)で表現し、裏面は、東求堂(とうぐどう)をレリーフで表すとともに、池の水面の模様には梨地加工技術を施しています。

製品名	国宝章牌「慈照寺(銀閣寺)」(金)	国宝章牌「慈照寺(銀閣寺)」(銀)
材質	純金(造幣局品位証明刻印(☞)入り)	純銀(造幣局品位証明刻印(☞)入り)
直径・重さ	直径:35mm・重さ:約45g	直径:60mm・重さ:約160g
仕上・その他	桐箱入り	銀いぶし仕上げ(表面)・化粧ケース入り
販売価格(消費税・送料込)	450,000円	32,000円
販売予定数量	800個 ※販売予定数量のうち、海外販売用として10個を限度に控除いたします。	2,000個 ※販売予定数量のうち、海外販売用として20個を限度に控除いたします。

申込数	申込数に制限はありません。(お申込みの状況によっては、販売数量を変更する場合があります。また、販売予定数量を超えたときは、抽選とさせていただきます場合があり、その際は、お一人様5個までとさせていただきます。)
申込受付期限	令和2年10月9日(金)消印有効
申込方法	同封の申込はがき又は郵便はがき若しくは造幣局オンラインショップ(https://www3.mint.go.jp/)により、お申し込みください。
申込先	(はがき表) 〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79 造幣局 慈照寺 係 (はがき裏) ①章牌の種類(金・銀)及び申込数量、②郵便番号、③住所、④氏名(フリガナ)、⑤電話番号、⑥お客様コード(9桁の数字、造幣局に登録のある方はご記入ください。)
受け付けた方への連絡	造幣局発行の払込用紙等ご入金のご案内を、 10月中旬頃(抽選となった場合は10月下旬頃)から順次 送付いたします。払込用紙の裏面等に記載の注意事項をよくお読みのうえ、払込期限内にコンビニエンスストア、郵便局(ゆうちょ銀行)又は銀行(銀行振込手数料はお客様のご負担)でご入金願います。30万円を超える場合は、コンビニエンスストアではご入金いただけませんので、郵便局(ゆうちょ銀行)、銀行をご利用ください。なお、造幣局オンラインショップからお申し込みいただいた方は、クレジットカードでもお支払いいただけます。また、製品の発送はご入金・お支払い後となります。抽選となった場合は、受付できなかった方への連絡はいたしませんので、ご了承ください。
製品の発送	10月下旬頃(抽選となった場合は11月上旬頃)から順次 発送いたしますが、お申込みの状況によっては、製品のお届けが12月頃となる場合がありますので、ご了承ください。なお、複数の製品を同時に申し込み及びご入金・お支払いいただきましても、別々のお届けとなる場合があります。
返品について	製品到着後、速やかに段ボールから取り出しご確認ください。万一、不良品又はお申込みと異なる製品が届いた場合は良品と交換いたします。恐れ入りますが、到着後速やかに造幣局へご連絡のうえ、ご返願願います(送料造幣局負担)。なお、お客様のご都合による返品やおお客様の責に帰すべき不具合には応じることはできませんのでご注意ください。製品は涼しく湿気の少ない場所で保管してください。なお、年月の経過によりケースの色合い等が変化しますが、交換には応じることはできませんのでご了承ください。
個人情報の取扱い	お客様の個人情報は、ご入金・お支払いの確認、製品の発送等お申し込みいただいた製品の販売に関する事務に利用するほか、造幣局製品やイベントのご案内、お問合せ・アンケートのために利用する場合があります。お客様のご理解がない限り、その他への利用はいたしません。

造幣局では、最新の情報をメールマガジンで配信しています。ご登録は、右記のホームページまでお願いします。

裏表紙の写真では、「世界文化遺産ブルーメダル3点セット(明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業)」をご紹介します。ご希望の方は、造幣局オンラインショップ又は右記の「お客様サービスセンター」までお問い合わせ願います。

発行所 独立行政法人 造幣局
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目1番79号
造幣局ホームページ(URL)<https://www.mint.go.jp/>
お問合せ先 造幣局お客様サービスセンター
TEL 0570-01-2626 (ナビダイヤル)
ナビダイヤルをご利用できない場合06-6351-2626
(平日午前9時～午後5時)
令和2年9月18日発行(第74号)

※表紙・裏表紙に掲載されている写真はイメージのため、現物とは異なります。